

1 パブリックコメント（意見募集）の結果

「大館市地域福祉計画」（案）についてのパブリックコメント（意見募集）の結果は次のとおりです。

- 1 募 集 期 間：令和3年1月6日（水）から令和3年1月20日（水）まで
- 2 対 象 者：①大館市内に在住、在勤、在学しているかた
②大館市内に事務所、事業所を有するかた、または法人その他の団体
- 3 資料閲覧場所：大館市 HP、大館市福祉課総務係、比内・田代総合支所市民生活係、
- 4 意見提出方法：郵送、ファクス、電子メール、直接持参
- 5 意見提出者数：1人
- 6 意見件数：2件
- 7 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
①	P16の基本施策1の1点目「暮らし良さを発見しあえる場の構築」において、町内会館の建設支援の拡充とありますが、具体的にどのような拡充でしょうか。これからの福祉の在り方として、町内での支え合いのコミュニティ形成の場の中心となるのは、町内会館の利活用ではないかと考えます。わたしの町内は、町内会館建設の為に、毎戸10万円の拠出を頂き、市からの150万円の助成金を受け完成されたものですが、トイレの水洗化ができておりません。当地域では現在、下水道工事が進められてはおりますが、下水道が完備されても資金面でトイレの水洗化ができないのは誠に残念です。老若男女が集う町内会館は、トイレの水洗化はもとより、バリアフリー化が必至と考えますが、これら改修工事について、助成頂く制度はないのでしょうか。バリアフリーが住民の為にするのであれば、生活基盤の一番近くにある町内会館を、誰もが利用しやすい場にできればと考えます。	現行の町内会館の設置等の補助制度は、対象経費の25%以内、150万円を上限としているところです。少人数世帯が増加する中、地域活動を行う上で、町内会館などの拠点は必要不可欠であることから、今後、暮らし良さを発見しあう居場所づくりなど、地域共生活動を誘発できるような助成制度を目指したいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。
②	住み慣れた地域で老後を過ごしたいものの、周りに迷惑をかけるのではないかと、先々を心配している住民が多い中で、町内における各世帯の把握体制が確立されていないことから、現状は、事が起きた時の判断しかできない状況です。民生委員と町内での意見交換体制など、今後、世帯把握のための様々な工夫が必要になってくると思いますが如何でしょうか。	今後、人口減少に伴い、少人数世帯や、1人暮らしの高齢者は益々増える状況にあります。そのため、安否確認については、守秘義務を伴う民生委員等の専門家の活動や、緊急通報システム等の情報ツールに加え、近隣同士の見守りあう意識が非常に重要になると考えられます。この見守りは、コミュニティが活発になるほど、自発的に行われることが期待され、地域共生の進展にも繋がっていくことから、近隣の関係性を向上させる地域活動等を促す様々な施策を整備していきたいと考えております。なお、町内組織が世帯情報等を取得・管理することは適切ではないため、課題への対応等は、市や包括支援センターなど、相談機関との連携が必須となるものです。